

2014年9月1日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社

企業向け新サービス『スマイリングロード』の提供 ～ ビッグデータ解析やテレマティクス技術等を活用した安全運転支援サービス ～

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：二宮 雅也、以下「損保ジャパン日本興亜」）および損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社（社長：角 秀洋、以下「損保ジャパン日本興亜リスク」）は企業向け安全運転支援サービス『スマイリングロード』の提供を2014年度内に開始します。

本サービスはビッグデータ解析やテレマティクス^{※1}技術等を活用した安心・安全を支援する先進的なサービスであり、企業活動における自動車事故の削減や高品質な事故対応サービスを実現します。

※1 テレマティクスとは、Telecommunication(=通信)と Informatics(=情報工学)から作られた造語で、自動車などの移動体に通信システムを組み合わせ提供される情報サービス

1. 『スマイリングロード』開発の背景

走行データ等のビッグデータ解析やテレマティクス技術等の技術革新により、付加価値の高い安全運転支援サービスを開発できる環境が整備されてきています。また、企業における安全運転や事故防止への取組みも、より重要性が高まっています。

このような環境の変化を受け、損保ジャパン日本興亜の年間約140万件の自動車保険事故対応に関するノウハウとグループ会社である損保ジャパン日本興亜リスクが持つ企業向けの安全運転支援ノウハウに、先進技術を組み合わせ、両社が共同で企業向け安全運転支援サービスを開発・提供することにしました。

2. 『スマイリングロード』の概要（主な機能は別紙参照）

（1）仕組み

IoT^{※2}関連技術を活用したドライブレコーダーによりビッグデータ（走行データ）を収集し、通信回線を経由してデータセンターにリアルタイムで送信します。

収集したデータを損保ジャパン日本興亜独自のアルゴリズム^{※3}により分析し、企業の管理者のパソコンおよびドライバーのスマートフォンや携帯電話などに、安全運転診断結果や危険な運転操作等の情報をフィードバックします。

※2 Internet of Things の略であり、さまざまなモノに通信機能を持たせ、ネットに接続することにより、遠隔からセンサーデータを計測したり、機器の制御などを行うこと

※3 データ等を自動的に加工・変換処理する仕組み

(2) 特長

①先進技術を活用した走行データ収集および分析アルゴリズム開発	通信機能付きのドライブレコーダーにより、ビッグデータ（走行データ）を収集し、「危険な運転操作」だけでなく「安心な運転操作」も自動的に分析するアルゴリズムを開発し、事故削減につなげます。
②ドライバーが自発的に安全運転する仕組み	企業の管理者への支援機能に加えて、ドライバー個人に対してゲーミフィケーション ^{※4} を活用し、運転終了後にスマートフォンなどに安全運転診断結果やランキング情報などをフィードバックする「褒める仕組み」を導入することで、ドライバーの安全運転意識が自発的に向上する損保ジャパン日本興亜独自の機能を提供します。
③損害保険グループならではの、事故対応やリスクコンサルティングサービスの拡充	事故時にドライブレコーダーから取得する位置情報や画像を利用し、より迅速・的確な事故対応サービスや高品質のリスクコンサルティングサービスを実現していきます。

※4 ゲームが本来の目的ではないサービスにゲーム的要素を組み込むことで、ユーザーのモチベーションやロイヤリティを高める手法

(3) 提供対象者

損保ジャパン日本興亜の自動車保険フリート契約^{※5}にご加入の法人のお客さま

※5 自動車を10台以上所有・使用しているお客さま向けの自動車保険契約です。事故防止の取組みにより、支払い保険金が減少すると、翌年度の割引率が拡大する仕組みがあります。
(割引率が上限の場合などを除く)

(4) 提供開始日(予定)

2014年12月 地域を限定しサービス提供開始^{※6} ^{※7}

2015年 3月 全国でサービス提供開始^{※6}

※6 有償での提供を予定しています。

※7 販売価格・先行提供地域などの詳細については、後日ご案内します。

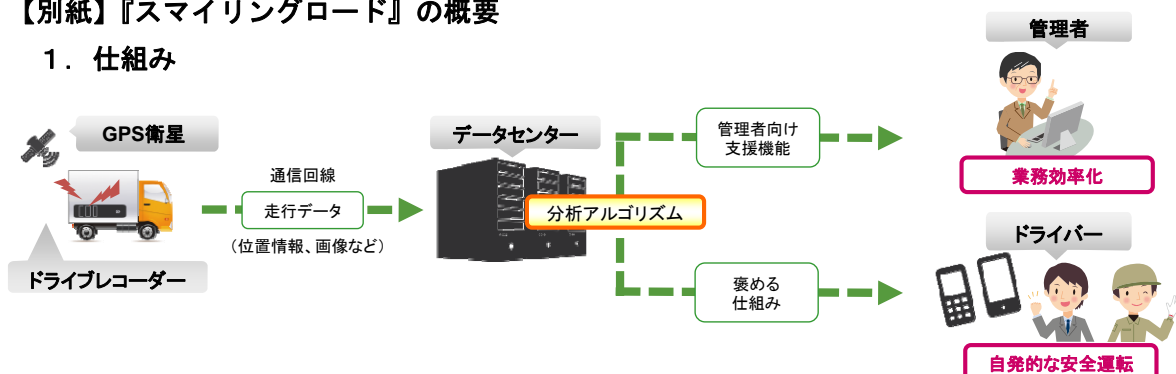
3. 今後の展開

損保ジャパン日本興亜は従来からテレマティクス技術等を活用した個人向け自動車保険『ドラログ』などの先進的な商品を提供しています。今後も、ICTやビッグデータ解析などの先進技術を融合した商品・サービスを開発し、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質の商品・サービスの提供を目指していきます。

以上

【別紙】『スマイリングロード』の概要

1. 仕組み



2. 主な機能

名称		概要
ドライバー向けの 自発的に安全運転 する仕組み	安全運転診断	運転終了後に加減速やハンドリング、エコなどの運転操作に対する安全運転診断を行い、ドライバー向けのスマートフォンアプリ、またはメールで診断結果を通知します。診断結果に応じて、「スマイル」（本サービス専用ポイント）を提供します。
	安全運転 ランキング	前日の安全運転診断の結果を、毎日ランキング形式で表示します。ランキングの上位者にはプチギフトをプレゼントします。
	懸賞応募	安全運転診断によって貯めた「スマイル」を使用して、毎月抽選で当たる懸賞を実施します。
管理者向けの 支援機能	管理者向け Web サイトの提供	各ドライバーの運転状況や安全運転診断結果を確認できる管理者向けの Web サイトを提供します。
	グループ目標 設定機能	管理者が職場・グループ内での安全運転診断の共通目標点数を設定できる機能を提供します。
	危険挙動 メール配信	ドライバーが急ブレーキなどの危険な運転操作を行った際、即時に管理者に発生時の画像や場所をメール配信します。
事故発生時の サービス・リスク コンサルティング サービスの拡充	事故対応 サービスへの 活用	事故時の位置情報や画像をデータセンターに送信・蓄積し、損保ジャパン日本興亜の事故対応サービスに活用します。
	リスクコンサル ティングサービ ス	現在、損保ジャパン日本興亜リスクで提供している各種自動車事故防止支援サービスと走行データ（画像など）を連携させて、ドライバーの運転改善支援を行うなどの新たなリスクコンサルティングサービスを提供します。